

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス ゆめきら | | 公表日 | | 令和7年 3月 28日 | |
|---------|----|---|----|-----|--|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | 5 | ・パーテーションや長机等を使用し、空間を分け工夫している。 ・近くの公園に行き体を動かせるようにしている ・段ボールハウスを作りクールダウンスペースとして活用している | ・個室があったほうが良いと思う ・室内が狭い ・体を動かすスペースがほしい | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 1 | ・職員1人につき子どもを2人見れているのでいい ・チームワークがすごくいい ・人数にあった児童指導員を配置している | ・送迎が繁雑のため、今後も1日4人～5人以上は配置したい | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 3 | ・部屋同士の行き来がしやすく、子ども主体で空間を選べる ・狭い空間で仕切りを作る等工夫し空間分けを行っている | ・学習室とおやつを食べる場所が同室になっているため下校後は相互の混雑が見られ落ち着けずにいる児童もいる。 ・バリアフリーはできておらず、車いすの方の利用は難しい | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 2 | ・毎日、次亜塩素酸で机やイス・棚・ドアノブなどの消毒を行っている ・製作の部屋・学習部屋・遊ぶ部屋が各々ある | ・洗面所を個室空間として使用するも手洗いをする子どもで混雑することが多々ある | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 1 | ・必要に応じて事務所などを個室として活用している ・狭い空間でもパーテーション等で個室空間を作っており必要に応じて活用できるようにしている | ・洗面所を個室空間として使用するも手洗いをする子どもで混雑することが多々ある | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | | ・会議などに多くの職員が積極的に参加している ・モニタリングや外部での会議の際には必ず支援会議を実施しており多くの職員が参加できるようにしている | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | ・去年同様、自己評価表を実施し、会議を行い改善に努めている。 | ・モニタリングにより保護者の意向を聞き把握しているが個人的に「保護者向け評価表」というものの把握は出来ていなかった。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | ・都度、気付きを共有しやすい雰囲気である。 ・ミーティングの際には、になの意見や気付き・分からないことを聞くように努めている | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | ・第三者による外部評価は実施していない | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | ・月に1回、全体会議が行われており様々なテーマにおいて研修できる環境はとても良い。 ・案内があれば積極的に研修をうけている ・職員の希望を取りより多くの職員が研修を受講できるようにしている | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | ・年に1度、必ず自己評価アンケートと会議を実施しホームページにて公表している | ・よく支援の方針を教えてもらっている | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | ・訓練の内容をごまめに記録したりファイリングし、いつでも振り返ることができるように工夫している。 ・日頃の課題や保護者のニーズに合わせて支援計画の作成を行っている ・支援会議の実施 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | ・定期的な支援会議を行うなど職員が支援計画の共通理解ができています。支援計画が変わる際にはその都度変わる児童の計画書をまとめ、皆が閲覧できるようにしている | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | | ・もっと標準化されたアセスメントツールを活用していきたい | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|--|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | ・5領域を必ず計画に取り入れ作成を行っている。また、家族支援・移行支援・地域支援もきちんと取り入れている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | ・活動案を毎月チームの皆で出すようにしている。 ・全職員や利用児の意見が取り入れられている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | ・制作・調理・外出・季節の活動など、様々な活動が取り入れられ偏りのないよう計画を行っている | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | ・毎日、必ず打ち合わせが行われており、前回の気付き等の共有が行われている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 2 | ・初めての活動や避難訓練があった日はより重点的に行っている ・活動の振り返りと反省点を終業前に行っている ・必ずではないが、送迎終了後には気づきや振り返りができる関係・環境である ・よく記録を行っている | ・送迎終了後には時間がないことが多いため必ず次の日の支援前のミーティングで情報共有を行うようにしている |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | ・最低でも半年に1回はモニタリングを実施しており、必要に応じて早めにモニタリングを行うケースもある | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 8 | | ・複数組み合わせている | ・今後は地域との交流を多く設けていきたい |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | ・利用児にどうしたいのかを選んでもらう機会を設けるようにし自己選択の場面を作っている ・活動においても子どもたちが選択しながら主体的に取り組めるようにしている ・声掛けの仕方や介入の仕方のヒントとなる参考ファイルを手に取りやすい場所に設置されている | |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 1 | | ・もう少し、連携をとるよう務め連携の強化を図っていきたい |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | ・こまめに連絡や連携をとるよう努めている | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | ・情報共有に努めている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 2 | | ・そのケースがないため実施していない |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 2 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 8 | | ・他事業所との交流や地域の方が参加するイベントが開催されている ・公園に外出に行った際に、他校の子どもと遊びを共有する姿が見受けられることもある | ・他事業所との交流はあるが、今後はもっと交流の機会を増やしていきたい |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 1 | ・子ども支援部会などに、積極的に参加している | |
| 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | ・送迎の際に提供記録に記載していないことでも個々の様子などを話せるように心がけている ・送迎時に必ず自宅での様子を聞くようにしている | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|---|
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 1 | ・資料提供や助言を行っている。 ・ファミリー会や父親会の開催 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | ・利用契約時や契約書の内容が変わる際はその都度、必ず説明を行っている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | ・家族の意向を聞き家族の意見を取り入れている。 | ・子どもの意見も取り入れていきたい |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | ・必ず同意を得るようにしている | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | ・面談など、対面での話し合いを行ったり、LINEや電話などのツールも活用したりしている | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 8 | | ・定期的にファミリー会も実施している。 ・今年度、開催された父の会は喜ばしい声も聞かれとても良かった ・今後も父の会を設けていきたい | ・母子家庭もあるため、今後は父の会だけではなく母の会も企画したい |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | ・意見や苦情があった際はすぐに児童発達管理者に情報共有するように周知し、すぐに対応をできる体制を整えている | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | ・毎月、子どもたちの日々の様子や活動予定を記載したおたよりを配布している。 ・日頃の活動の様子をホームページに定期的に掲載している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | ・新任研修や日々の支援の中で個人情報の取り扱いについては周知を行っている | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 8 | | ・蓮花の会の秋祭りを開催し、地域の方を招き交流を図っている | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | ・職員への周知を行っておりマニュアル表を掲示している。 ・緊急時マニュアルは各社用車に準備している | ・それぞれのマニュアルについて、保護者への周知をもっと詳しく行っていきたい |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | | ・さまざまな訓練には取り組んでいるが、救出という訓練は実施したことがないのでまずはマニュアルを知りたい |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 8 | | ・医者からの服薬指示書と内容についての書類を保護者に情報提供してもらいファイルにまとめている ・薬の副作用や効果についての情報共有がされている | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | ・法人全体の研修にて行われている | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | ・ヒヤリハットがあった際には必ず会議を行い改善に努めている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | ・年に2回は法人の研修会にて開催されている | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 1 | | ・やむを得ずに身体拘束を行う利用児はいないが、個人的に計画に記載しなければならぬという事は把握できていなかったため知れてよかった | |